

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 書誌情報システム更新保守管理費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部 図書館 管理調整係 電話番号：058-275-5111(内291)

E-mail：c21803@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 22,807 千円 (前年度予算額： 22,813 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	22,813	0	0	0	0	0	0	0	22,813
要求額	22,807	0	0	0	0	0	0	0	22,807
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

図書館の貸出・返却・検索等の業務を円滑・迅速に行い、県民により利便性の高いサービスを提供できるようにする。

(2) 事業内容

図書の貸出・返却や蔵書管理等を行う書誌情報システムの関連機器賃貸借及び維持管理業務。

※システムの改修や設定変更等が必要な場合は、事案発生の都度、補正予算で対応。

※令和 6 年度から 6 年間の債務負担設定済。

・図書館書誌情報システムの保守管理費：契約金額175,219千円

令和 6 年度：60,110,798円

令和 7 年度～令和 1 0 年度：各22,805,244円

令和 1 1 年度：23,887,226円

(3) 県負担・補助率の考え方
県負担10/10

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	10,726	システム維持管理
使用料及び賃借料	12,081	機器賃貸借
合計	22,807	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 事業主体及びその妥当性

書誌情報システムは、図書資料の貸出状況等を適正に管理するために不可欠であるとともに、県民の効率的な図書館利用を可能とし、全県域の住民がインターネットを介して図書館や蔵書の情報を得られるようにするために必要であり、事業の必要性は高い。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

図書資料の管理運営及び利用者による利活用推進のため、書誌情報システムを構築し、システムの安定稼働とセキュリティへの対応により、県民にとって安心・安全かつ利用しやすい図書館を目指す。また、利用者への貸出に関する利便性を向上し、貸出冊数の増加につなげる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R11)	達成率
貸出冊数	353,052	290,880	350,000	350,000	350,000	83.1%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・約3万人分の個人情報を保有（令和4年度末時点）。書誌情報システム維持管理業務定例会を毎月開催するなどし、システムの安定稼働に努めた。 ・昨年度開始した県内高校在学中の生徒向けのオンライン利用者登録サービスを拡充し、県内一般利用者のオンライン利用者登録も開始するなど、非来館型サービスを推進した。
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・約2万9千人分の個人情報を保有（令和5年度末時点）。書誌情報システム維持管理業務定例会を毎月開催するなどし、引き続きシステムの安定稼働に努めた。 ・オンライン利用者登録サービス等、引き続き非来館型サービスを推進した。
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・約2万9千人分の個人情報を保有（令和6年度末時点）。書誌情報システム維持管理業務定例会を毎月開催するなどし、引き続きシステムの安定稼働に努めた。 ・書誌情報システムをクラウド化し、蔵書探索AIとデジタルアーカイブの機能追加を実施し、セキュリティを強化するとともに県民の利便性向上を図った。

